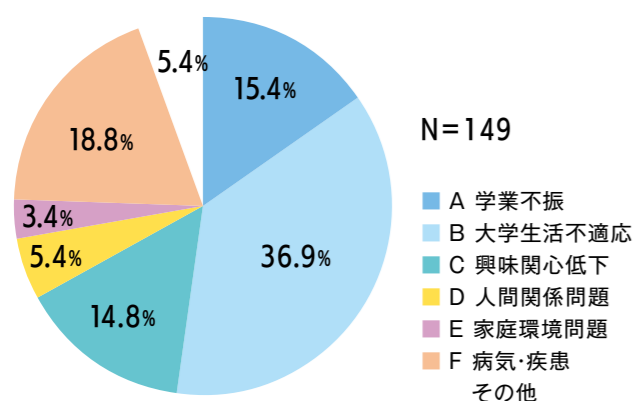


課題抽出・分析のため リアルデータを積極活用

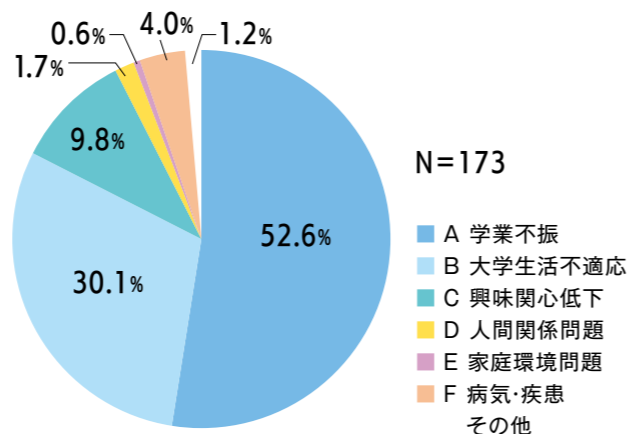
データをもとに課題を抽出し、新たな施策を計画するEBPM(エビデンスベースポリシーメイキング)を推進し、学生支援を充実させています。学生の声(定性的データ)を定量的なデータへ変換し、学習支援センターの創設や学生ケアの改善、クラブ・サークルの活性化などに取り組んでいます。

1. 学生との面談を通じて得た情報を基に様々な施策を立案

■図表1:多欠席者のつまずき要因



■図表2:単位不足者のつまずき要因



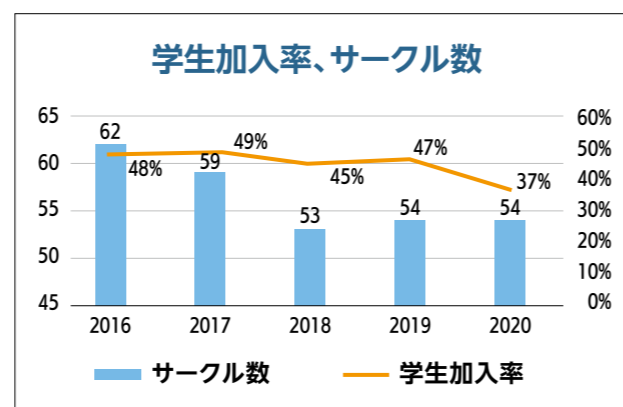
授業への多欠席から単位不足へ至る要因は「学業不振」「大学生活不適応」「興味関心の低下」が3大要因となっています。これらへの適切な対応が「誰ひとり見捨てることのない」学生支援を実現しています。

- 明らかとなった
問題・課題
- A 学業不振 53%
スタディスキル・学力不足、学習習慣未確立
 - B 大学生活不適応 30%
バイトや遊びなどの優先
 - C 興味関心の低下 10%
不本意入学、興味・関心の低下

- 対応策
- 学習支援センターによる修学支援
 - 授業出席状況や単位修得状況に応じた学生面談(年8回)を通じた生活改善
 - 時代の最先端を見据えたカリキュラム改定

2. 人間性の涵養に資するヒューマンネットワークづくりを重視

成績を圧倒的に上昇させた学生(1年終了次と3年終了次の累積GPAを比較し0.5以上向上させた学生、各学科の学年に数人程度)のうち、77%は「友人と勉強に励んだ」と答えています(*1)。また、在学生(1~3年生)の13%は「人間関係に悩みがある」と回答(*2)していることから、充実したキャンパスライフを送るには、豊かで健全な人間関係の形成が必要なのではないかと考え、クラブ・サークルの活性化に取り組んでいます。課外活動加入率の全国平均は約65%(理系大学約50%)ですが、本学は37%にとどまっています。学生団体創設のスタートアップ支援、学生団体向けのリーダーシップセミナーなどの各種研修、広報活動の指導などを行い、学生の意欲、技術の向上を図っています。2023年度からは「正課外活動教育プログラム」を始動させ、全国屈指の学生支援を目指します。



*1 2022年度「成績向上学生に関するヒアリング調査」
*2 2021年度「修学状況・大学生活に関する実態調査」

「学習支援センター」で 学習効果を最大化

公式HPは
こちら



福岡工業大学はFor all the studentsの理念のもと、学修者本位の教育を展開しています。育成すべき人材像として、「自律的に考え、行動し、様々な分野で創造性を発揮できるような実践型人材を育成する」ことを掲げ、様々な学習支援を行っています。2022年4月、新1年生の学習支援機能「フレッシュマンスクール」と全学的学習支援機能「FIT-inサポート」統合して、「学習支援センター」を創設しました。

学習支援センター体制

高校の学びと大学の学びのギャップを埋め、スムーズな学修へ移行させる学習サポートを行います。コーディネーターが、2名の教員(数学、物理、レポート作成)と約50人のLA:ラーニングアシスタント(学科の先輩)を適切に配置し、多様化する学生に対し個別最適な支援を行っています。

スケジュールと支援の流れ



入学前教育

年内(推薦)入試で入学を決めた学生に対し大学の学びを意識付けることを目的として、入学前教育を実施しています。入学前教育に着手し、安心して入学ができるようになります。事前ガイダンス、課題学習、フォローアップの3部構成で、学習効果を向上させています。成績を圧倒的に上昇させた学生(1年終了次と3年終了次の累積GPAを比較し0.5以上向上させた学生、各学科の学年に数人程度)のうち、70%は年内入試の学生でした。スムーズな大学の学びへの移行は入学前から始まっており、徹底した入学前教育で学生を成功に導きます。

基礎講座

新1年生や1年生の科目へ再度チャレンジする学生に対し正課授業の理解の深化を目的として基礎講座を展開しています。大学で学習する「解析」「線形代数」「統計」などを理解するための基礎となる、「関数」「微積分」「ベクトル」「確率」などの分野をモジュール化して単元ごとに問題を解く訓練を行っています。また、社会科学系の学生は授業で提出するレポートの作成方法について学びます。基礎講座の開始時、修了時に確認テストを行い学習成果を可視化しています。本学学生の退学者のうち、約80%が1年生、2年生と下位学年であり、退学理由の約50%は数学や物理を中心とする学業不振であることがわかっています。基礎講座で基礎知識を確かな学力へ変え、卒業までの学びを充実させていきます。

FIT-in サポート

1年生~4年生の全学生を対象として、正課授業の単位修得を目的として、教員や学科の先輩に質問や相談ができる体制を整えています。自主的かつ継続的な学びである「自己調整学習」が実現できるように、直接答えを教えるのではなく、解法を示すことにより答えへ導けるように工夫しています。また、先輩が「履修登録・時間割なんでも相談会」や「試験対策勉強会」などを開催し、後輩が大学で有意義に学べる環境を整えています。この他、楽しくキャンパスライフを送るように、クラブ・サークル、バイト、就職など授業外の学生の疑問点、悩み事の相談にも応じています。

科目	
数 学	数学授業の学習方法や課題への取り組み方など
レポ ー ト	人文社会科学系レポート、実験レポートの書き方など
英 語	英語の授業の復習、TOEICやTOEFLの資格試験の学習方法
専 門 科 目	プログラミングや物理など
なんでも相談	ノートの取り方、タイムマネジメント、大学生活全般

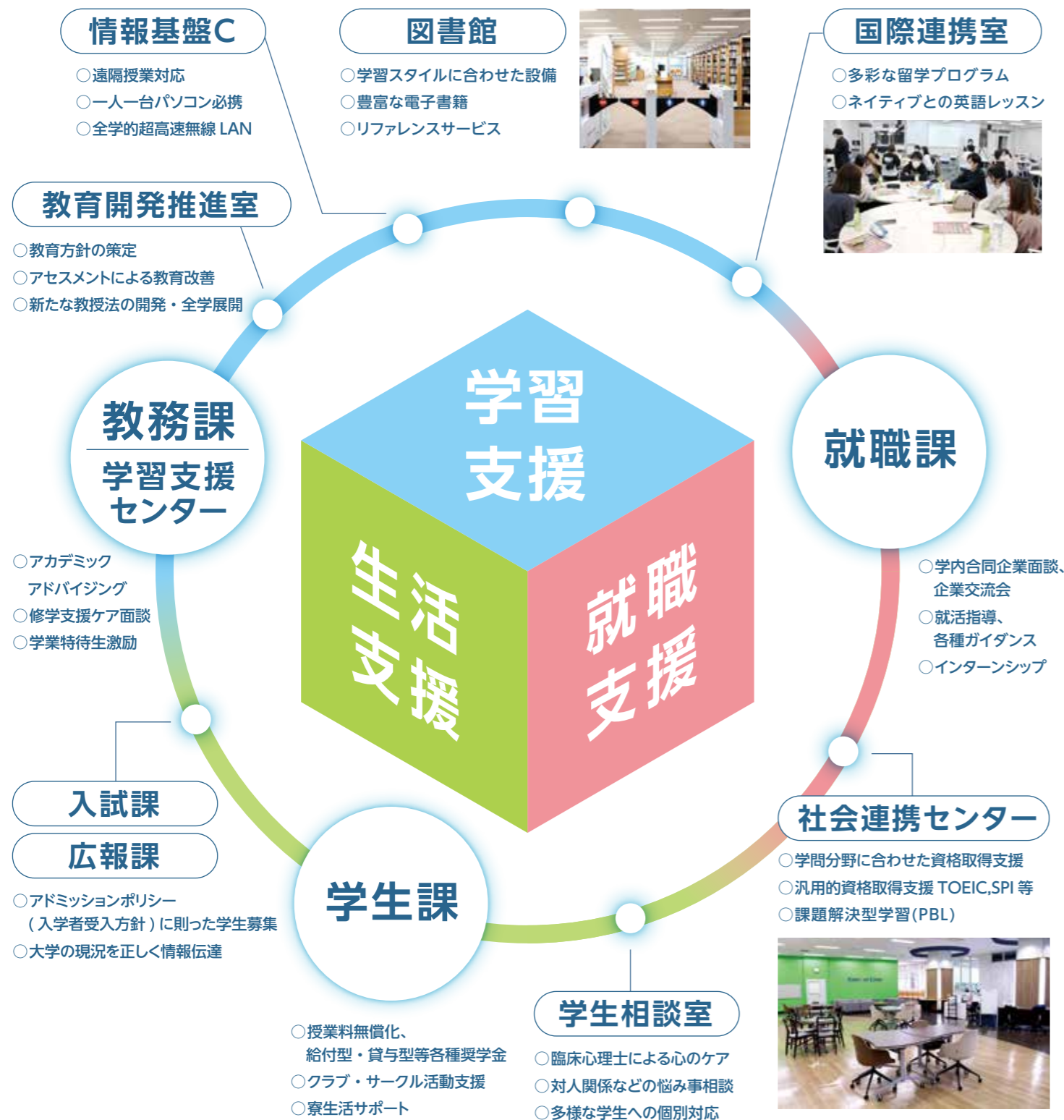


LAの先輩が後輩へ個別指導の様子 LAの先輩が開催する試験対策勉強会 履修登録・時間割なんでも相談会

学習支援センターは、「勉強を教えてもらう場」に留まらず、先輩が後輩へ勉強を教えるピアサポートの場、「ラーニングコミュニティ」としても機能しています。今後も学生を、自主的かつ継続的な学びに導けるよう発展していきます。

各課が連携し 個別最適なサポートを実現

入学後、学生が充実した福工大キャンパスライフを送り社会へ旅立っていくために、全教職員が一丸となって学生支援体制を整えています。学習支援、生活支援により大学での学びの環境を整え、各専門分野のディプロマポリシー（学習・教育到達目標）に掲げる知識、技術、能力を修得させ「実践型人材」へ成長させます。そして、全国屈指のキャリアサポートにより、学生自身の将来の夢を実現させ社会で貢献していきます。



生活支援

文部科学省補助事業「高等教育修学支援新制度」による授業料の無償化・給付型奨学金、日本学生支援機構（JASSO）による各種奨学金の他、本学独自の奨学金など手厚い奨学金制度を整え、経済的な理由による退学を防いでいます。

また、「入試の成績優秀者」「大学の学業成績優秀者」への奨学金や表彰制度・オリエンテーションを充実させ、修学意欲の向上を図っています。

多様な学生への対応として、常勤カウンセラー2名、非常勤カウンセラー2名、保健士2名を配置し、心身のケアを行っています。健康診断、Web調査フォロー等により異変を察知し適切に対応しています。

就職支援

正課授業による知識や能力、また正課外の自立を促す丁寧なサポートにより「自ら考え行動し、多様な分野で創造性を発揮できる実践型人材」を育成しています。学びの集大成となる出口では、就職率99.8%、実就職率98.1%（2022年度）を実現しました。また、就職の質にも徹底的にこだわり、上場企業・大手中小企業の就職シェア率は71.9%と高水準となっています。（大手・中堅企業は資本金3億円以上もしくは従業員数300名以上）入口との関係性を分析すると、主たる入試種別で比較して、上場・大手中堅企業への就職割合で大きな差異はなく、本学に入学して着実に歩みを進めることができれば、自己実現へつなげることができます。

外部からの評価

採用を増やしたい大学

全国 **5** 位

九州1位

就職熱心に取り組んでいる大学

全国 **4** 位

九州1位

面倒見が良い大学

全国 **4** 位

九州1位

*全上場企業と一部有力未上場企業の人事担当者から見た大学のイメージ 日経キャリアマガジン特別編集「価値ある大学2022年度」日経HR
*全国の高等学校進路指導教諭が評価する大学

14年連続で入学志願者が拡大、志願倍率は6年連続10倍。入試難易度が向上し、入学者の学力も向上しています。

■大学の入学者選抜種別ごとの志願者推移

